

とっとりキャンパスライフ2023

令和5年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書

発行 鳥取大学学生部学生生活課
〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

電話 0857-31-5058

編集 鳥取大学学生生活支援委員会
学生生活実態調査専門委員会

WEB版は
こちらから



2024年3月発行

※本報告書利用上の注意

本報告書に掲載されている本学独自の調査データを、引用・転載・コピーして二次利用されることは自由ですが、利用された場合は上記編集委員会（事務担当は発行者欄に記載）宛に利用内容をご報告願います。

令和5年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書

2023 とっとり キャンパスライフ



鳥取大学
Tottori University

Q
学校生活に
満足している？

Q
どんなアルバイトを
しているの？

Q
鳥大生の
経済状況は？

Q
通学時間は
どのくらい？

Q
鳥取大学の
施設・設備は
充実してる？

はじめに

この報告書は、令和5(2023)年10月に実施した、学生生活実態調査の結果を取りまとめたものです。

学生生活実態調査は、法人化される前の国立大学時代から実施していた定期調査(当時は4年に1度)を引き継ぎ、「本学学生の生活実態を把握し、学生の教育及び福利厚生の改善並びに充実のための基礎資料を得る」ため、実施してきているものです。調査結果は、この目的のために使われるとともに、高校生達への説明資料、外部機関への提供資料としても活用されています。

平成22(2010)年度からの報告書は、鳥取大学のホームページでも公表されています。
(<https://www.tottori-u.ac.jp/campuslife/life/investigation/>)

本調査は、およそ隔年(2年毎)に実施してきましたが、設問数が増えてきて回答に時間がかかるという問題点を改善するために、今回から形式を大きく変更しました。従来の調査において、基本編と学生支援体制編(前回は、COVID-19感染拡大の最中でもあり、特別に感染症編を追加)の2部構成となっていたものを分割し、それぞれを2年毎に交互に行うことになりました。同時に、いくつかの設問を削除しました。

今回は基本編にあたる学生生活編の調査を行い、2年後に学生支援体制編の調査を行います。また、前回まで対象外とされていた留学生を調査対象に加えることとしました。

前回までの調査と同様、貴重なデータが得られました。本学の改善や充実のために協力し意見を述べようとする学生の意欲の顕れである自由記述回答も多数得られています。前回調査においても、学生を含んだワーキンググループを設置し、各部局とともに指摘や要望に対する改善方策を探ってきました。今回も大学におけるPDCAサイクルの一つとして、この調査結果を活かしていきたいと考えています。

一方、調査の回答率は、この数回50%を下回っています。今回の回答率は、関係者の努力や景品(本学FSCのお米)配布の試行にもかかわらず、前回より2.8ポイント向上したものの43.1%に留まりました。設問数の削減も回答率向上のための有効な方策とはなりませんでした。

次回の回答率向上に向けて、アイデアを頂戴できる方がいらっしゃったら、学生部学生生活課にご一報頂ければ、大変ありがとうございます。

回答頂いた全ての学生諸君、回答率向上のために労を取って頂いた各部局長や関係教職員、学生生活支援委員会委員、また、調査内容の検討から準備、データ整理、分析、報告書編集まで実働に携わられた学生生活実態調査専門委員会委員や学生生活課職員、技術部職員をはじめ、本調査にご協力を頂いたすべての学生・教職員の皆様にあらためて感謝します。

令和6年3月

鳥取大学 学生生活支援委員会
学生生活実態調査専門委員会 委員長

後藤 知伸

目次

はじめに	1
目次	2
調査・集計・編集の概要	3

学生生活編

経済状況や居住環境、勉強やサークル活動など、日常の学生生活について回答してもらいました。

住居・通学方法について	4
課外活動について	7
アルバイトについて	9
カリキュラムについて	11
家計状況について	13
学生生活について	18
その他	23
参考資料	25

学生生活実態調査専門委員会 名簿

委員長	後藤 知伸	学生支援センター長	令 5.4.1～令 7.3.31
	大元 鈴子	地域学部 准教授	令 5.4.1～令 6.3.31
	飯野 守男	医学部 教授	令 5.4.1～令 6.3.31
	小野 佑輔	工学部 教授	令 5.4.1～令 6.3.31
	清水 克之	農学部 教授	令 5.4.1～令 6.3.31
	田鍋 良臣	教育支援・国際交流推進機構(高等教育開発センター) 准教授	令 5.4.1～令 7.3.31
	森川 修	教育支援・国際交流推進機構(入学センター) 教授	令 5.4.1～令 7.3.31
	桐山 聰	教育支援・国際交流推進機構(教養教育センター) 准教授	令 5.4.1～令 7.3.31
	長尾 博暢	教育支援・国際交流推進機構(キャリアセンター) 准教授	令 5.4.1～令 7.3.31
	井上 菜穂	教育支援・国際交流推進機構(学生支援センター) 准教授	令 5.4.1～令 7.3.31
	三島 香津子	保健管理センター 所長	令 5.4.1～令 7.3.31
	森本 拡伸	学生部学生生活課 課長	令 3.4.1～
	西尾 憲二	学生部学生生活課 学生支援係長	令 5.4.1～令 7.3.31
	大野 賢一	学長室 教授	令 5.4.1～令 7.3.31

調査・集計・編集の概要

調査の目的

本調査は、本学学生の生活実態を把握し、学生の教育及び福利厚生の改善並びに充実のための基礎資料を得ることを目的とする。

調査期間

令和5年10月1日～10月31日

調査の対象

令和5年9月1日現在に在籍する学部及び大学院学生全員
(ただし、休学者、連合獣医学研究科の全学生、連合農学研究科の他大学配置学生及び調査開始までに卒業・修了等により学籍を喪失する者を除く。)

調査の方法

Webシステムによるアンケート調査

集計の方法

所属、入学年度等の基本情報に基づき、設問毎に統計的にデータの集計を行った。
(なお、構成比は小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがある。)

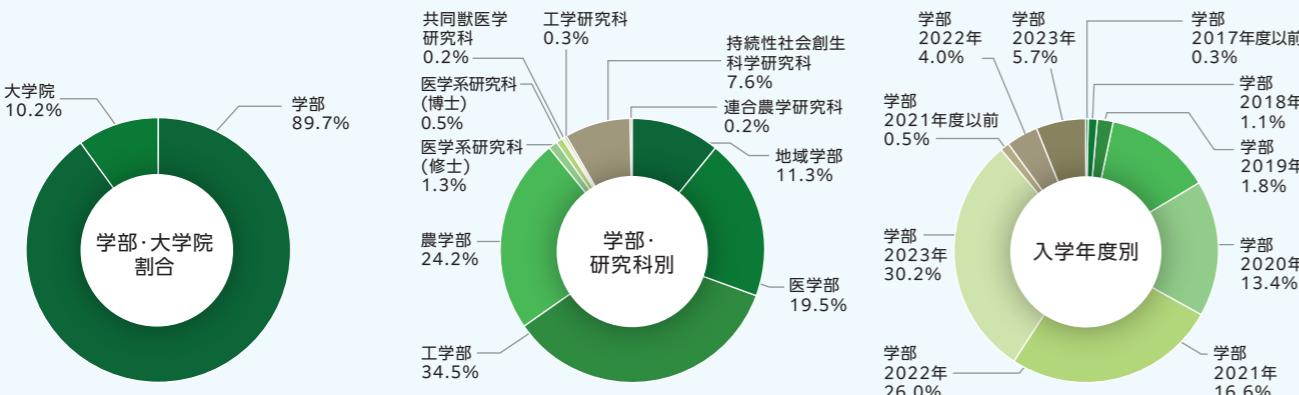
編集の方法

各回答の集計データを基に、学生生活実態調査専門委員会が分析を行った。
(なお、回答者数が5名以下の学部等は個別の集計の表示を省略しています)

調査表の回収状況

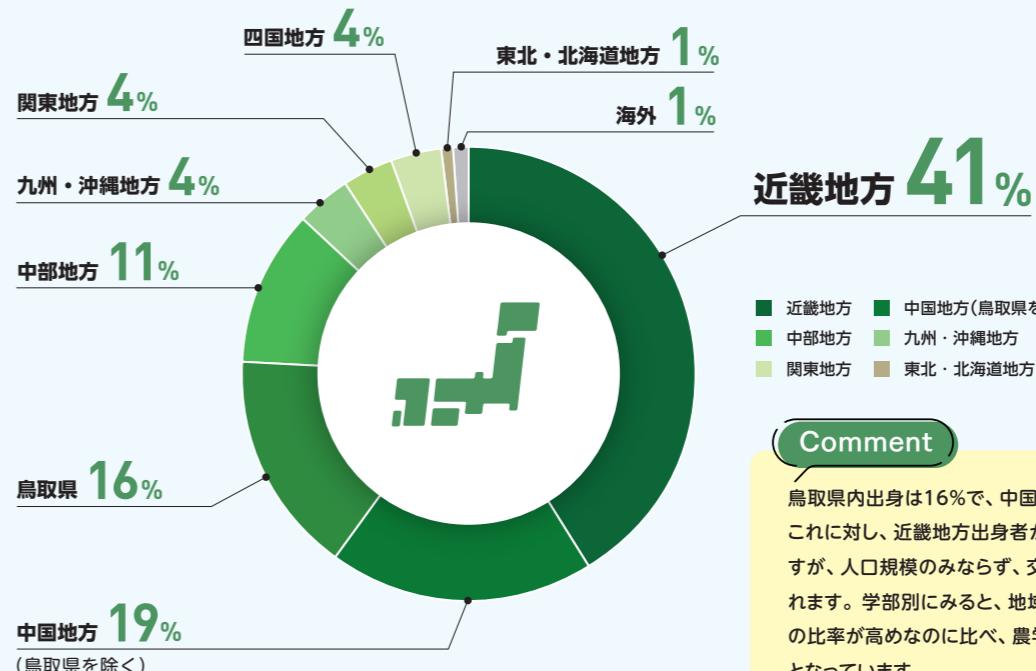
学部・研究科	回収者数(人)	対象者数(人)	回答率(%)
地域学部	290	717	40.4%
医学部	501	1319	38.0%
工学部	884	1860	47.5%
農学部	619	1128	54.9%
持続性社会創生科学研究科	196	551	35.6%
医学系研究科(修士)	10	16	62.5%
医学系研究科(博士)	9	131	6.9%
医学系研究科(博士前期)	24	74	32.4%
医学系研究科(博士後期)	4	23	17.4%
工学研究科	10	41	24.4%
連合農学研究科	5	50	10.0%
共同獣医学研究科	5	16	31.3%
総計	2557	5926	43.1%

調査に協力してくれた学生



01 あなたの出身地域はどこですか？

対象 大学全体



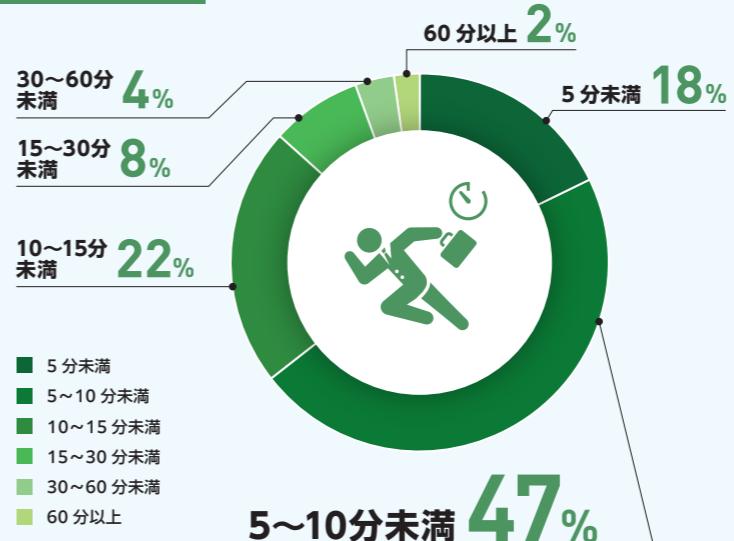
近畿地方 41%

Comment

鳥取県内出身は16%で、中国地方全体としても35%です。これに対し、近畿地方出身者が41%とこれを上回る結果ですが、人口規模のみならず、交通の利便性が要因とも思われます。学部別にみると、地域学部・医学部は地元出身者の比率が高めなのに比べ、農学部・工学部は相対的に低めとなっています。

02 あなたの通学時間(片道)はどのくらいですか？

対象 大学全体



5~10分未満 47%

対象 学部

学部	5分未満	5~10分未満	10~15分未満	15~30分未満	30~60分未満	60分以上
地域学部	14	41	19	13	6	6
医学部	17	45	26	9	32	
工学部	21	50	19	5	41	
農学部	14	50	26	7	21	
学部全体	17	48	22	7	42	

対象 大学院

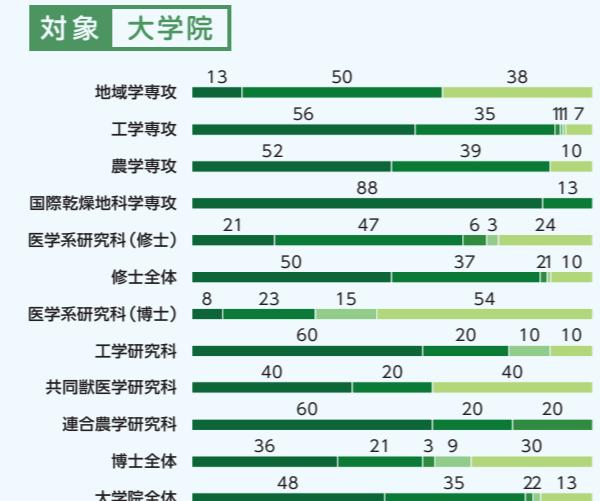
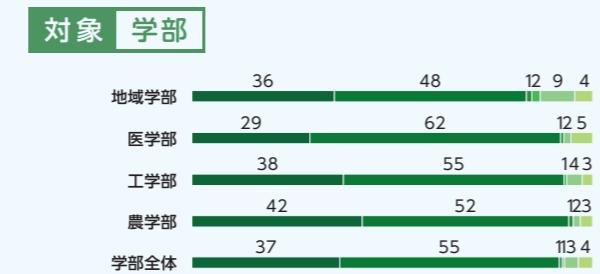
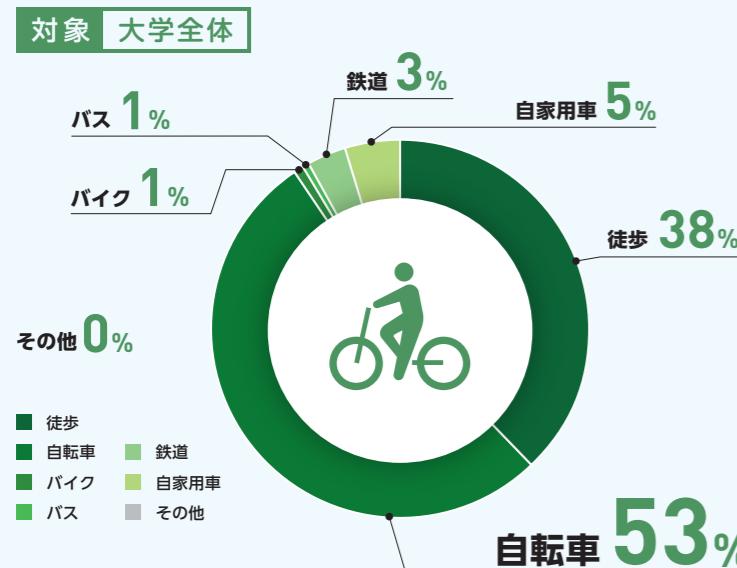
大院	持続性社会創生科学研究科	地域学専攻	持続性社会創生科学研究科	工学専攻	持続性社会創生科学研究科	農学専攻	持続性社会創生科学研究科	国際乾燥地科学専攻	医学系研究科(修士)	修士全体	医学系研究科(博士)	工学研究科	共同獣医学研究科	連合農学研究科	博士全体	大学院全体
	25	25	13	25	13	13	25	13	12	40	20	11	32	20	20	34
	26	48	15	9	32		23	13	38	21	9	3	38	20	20	34
	23	39	23	13	3		38	13	38	21	9	3	38	20	20	34
	38	38	13	13	13		18	12	38	21	9	3	18	27	9	34
	18	12	38	21	9		25	40	20	11	32		8	23	8	34
	25	40	20	10	20		10	20	20	20	20		20	20	20	20
	20	20	20	20	20		20	20	20	20	20		60	20	20	20
	8	23	38	8	23		8	23	38	21	9		18	27	9	34
	10	40	20	10	20		10	40	20	10	20		18	27	9	34
	20	20	20	20	20		20	20	20	20	20		60	20	20	20
	60	20	20	20	20		60	20	20	20	20		18	27	9	34
	18	27	24	9	3		18	27	24	9	3		24	39	20	11

Comment

回答者のうち65%が通学時間10分未満と近場からの通学が多いことがわかりますが、県内出身が3割を占める地域学部では、実家からの通学者が多いため、30分以上かけて通学する学生も6%程度存在します。

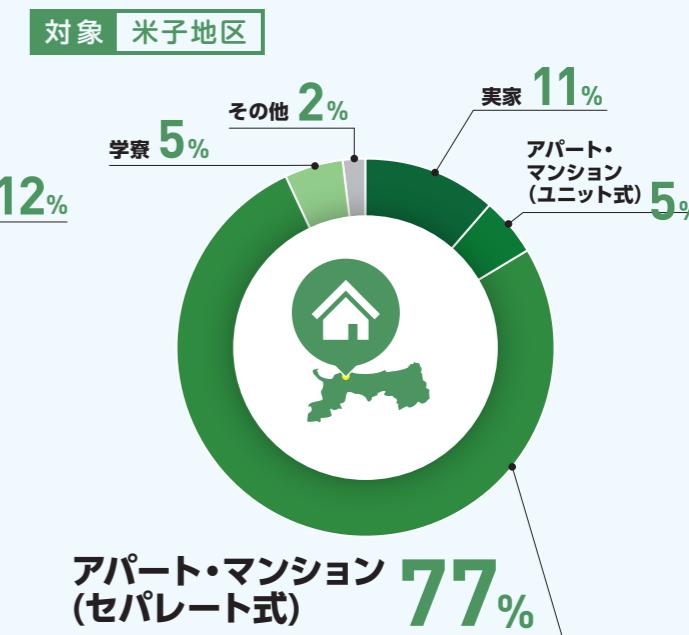
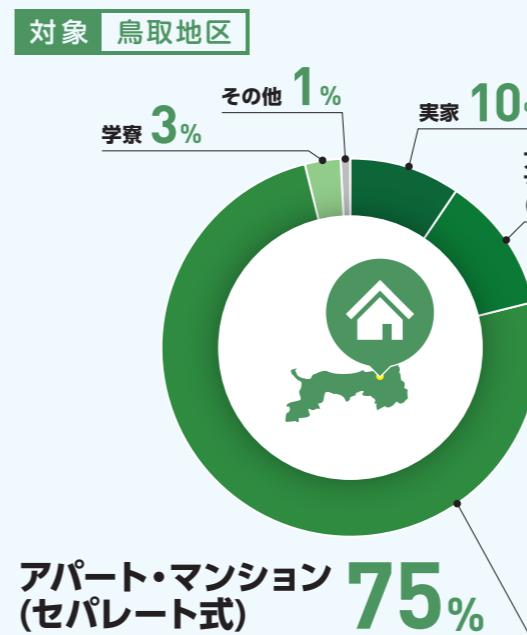
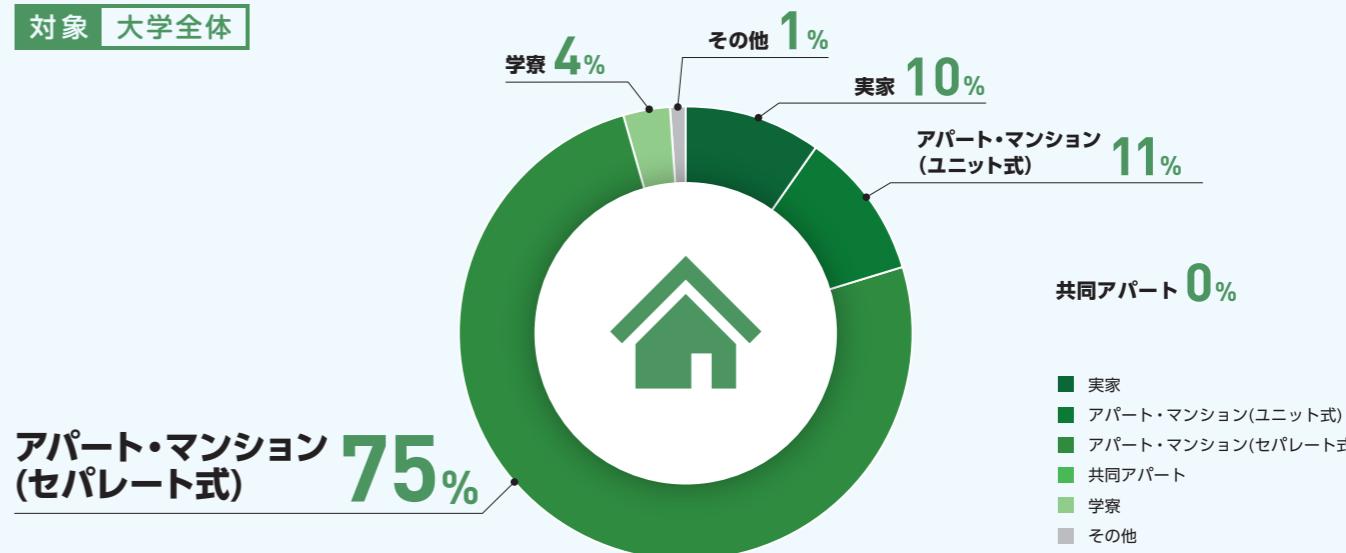
03

あなたの通学方法は何ですか? [乗継の場合は、最も長い区間の手段を選んでください]

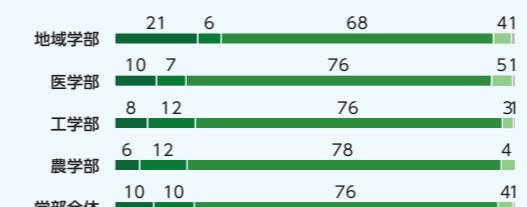


04

あなたの住居の種別はどれですか?



対象 学部



対象 大学院

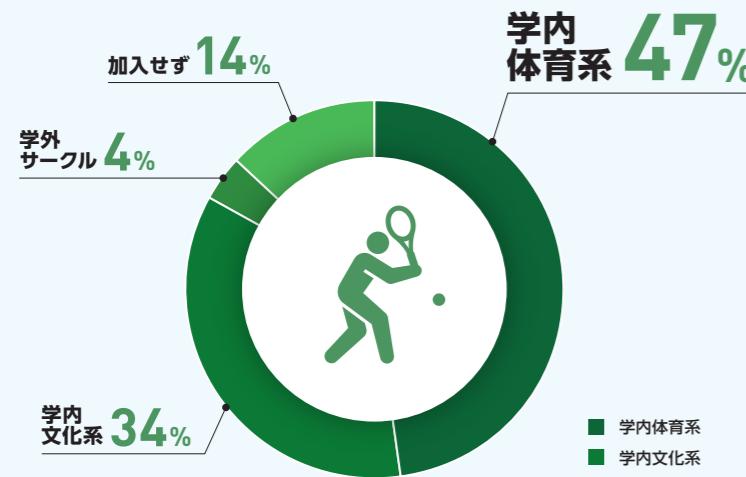


Comment

回答者のうち10%が実家住まい、90%がアパート・マンション等で生活しているという結果ですが、共同アパート居住者はほとんどいないようです。部屋の構造については、トイレとお風呂がそれぞれ分かれているセパレート式を選択する学生が圧倒的に多いこともわかります。

05 あなたは、現在部活動やサークル等(同好会含む)に入っていますか(または入っていましたか)?

対象 大学全体



Comment

81%の学生が学内のサークルに加入し活動しており、4%は学外のサークルで活動を行っているようです。以前の調査で9割近い学生が何かしらのサークルに加入した経験があったことと比べてサークル活動を行う割合は減っています。

対象 学部

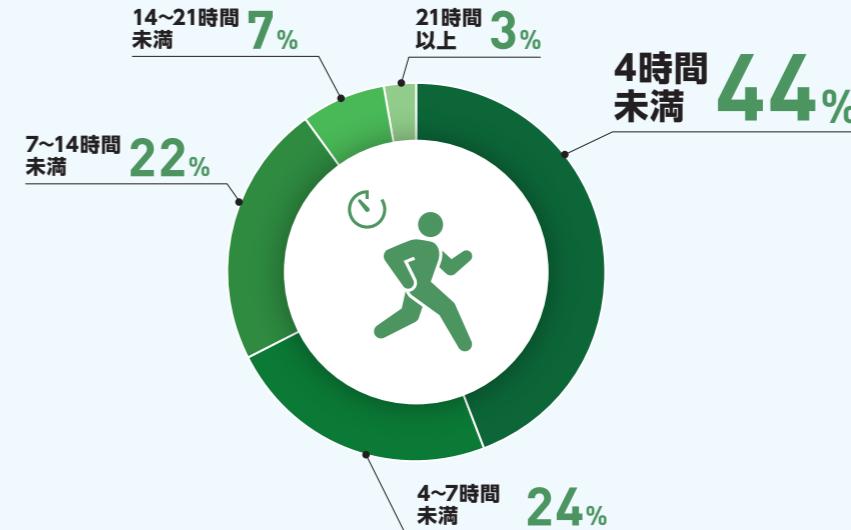
学部	加入せず	35	10	12
地域学部	31	53	4	12
医学部	59	32	1	8
工学部	53	29	2	16
農学部	40	38	10	12
学部全体	48	35	4	13

対象 大学院

学部	加入せず	30	4	17
持続性社会 創生科学研究科	48	30	4	17
医学系研究科(修士)	35	15	50	
修士全体	47	28	3	22
医学系研究科(博士)	31	15	54	
工学研究科	10	10	10	70
共同獣医学研究科	40	60		
連合農学研究科	20	20	60	
博士全体	15	18	6	61
大学院全体	43	27	4	27

06-2 あなたは、サークル等で一週間平均何時間くらい活動していますか? (問5の質問で加入または加入していたと答えた方)

対象 大学全体

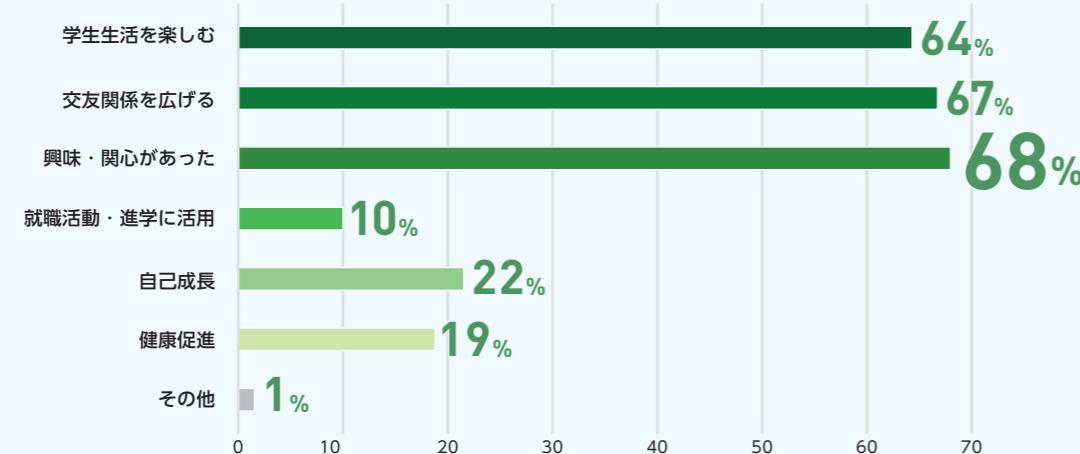


Comment

回答者のうち44%が1週間平均4時間未満の活動のようです。前回調査時(51%)より少なくなっています。コロナ禍で活動が抑制された時期がある事が関係する可能性があります。学部、大学院の別を問わず、活動時間には同様の傾向がみられます。

06-1 サークルに入った(または入っていた)主な理由はなんですか? [複数選択可] (問5の質問で加入または加入していたと答えた方)

対象 大学全体

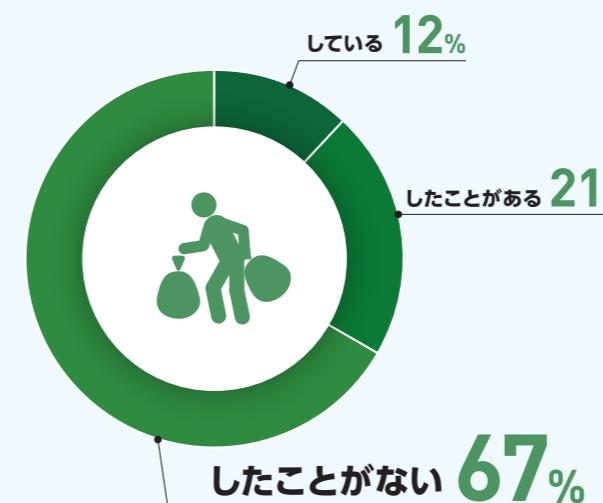


Comment

「学生生活を楽しむ」、「交友関係を広げる」、「興味・関心があった」の要素はほぼ同じくらい重要です。現在を楽しみながら、積極的に興味のあることを探求することは、大学生活の魅力の一つです。

07 あなたは、直近1年間に地域活動やボランティア活動をしていますか(またはしたことがあります)?

対象 大学全体



Comment

ボランティア活動を「している」、「したことがある」という学生は3割を超えていました。地域学部に限っては、教育内容が地域とつながりが強いこともあってか55%と他の学部に比べ高い数値となっています。

対象 学部

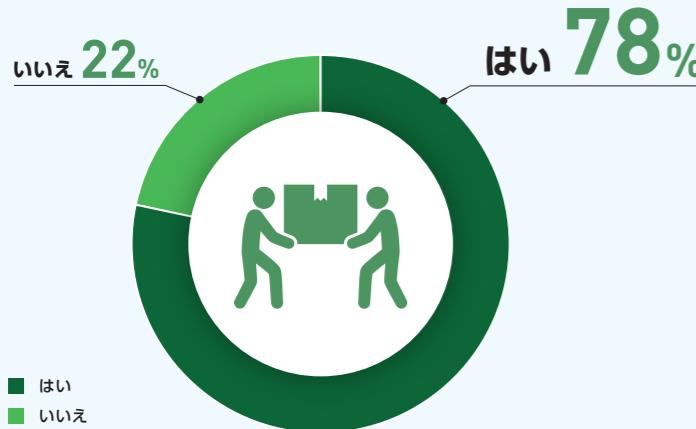
学部	29	26	44
地域学部	29	26	44
医学部	10	25	65
工学部	6	15	79
農学部	15	24	62
学部全体	12	21	67

対象 大学院

学部	9	23	68
持続性社会 創生科学研究科	9	23	68
医学系研究科(修士)	18	29	53
修士全体	10	24	66
医学系研究科(博士)	15	8	77
工学研究科	10	40	50
共同獣医学研究科	40	60	
連合農学研究科	40	60	
博士全体	15	21	64
大学院全体	11	24	66

08 あなたは、直近1年間にアルバイトをしましたか。

対象 大学全体



Comment

地域学専攻、工学研究科、医学系研究科(博士)を除くすべての所属において、7割以上の学生がアルバイトをしています。その中でも、国際乾燥地科学専攻の100%(ただし回答者8名)、農学専攻の90%(31名)、地域学部83%(290名)、農学部83%(619名)が高い所属となっています。

対象 学部

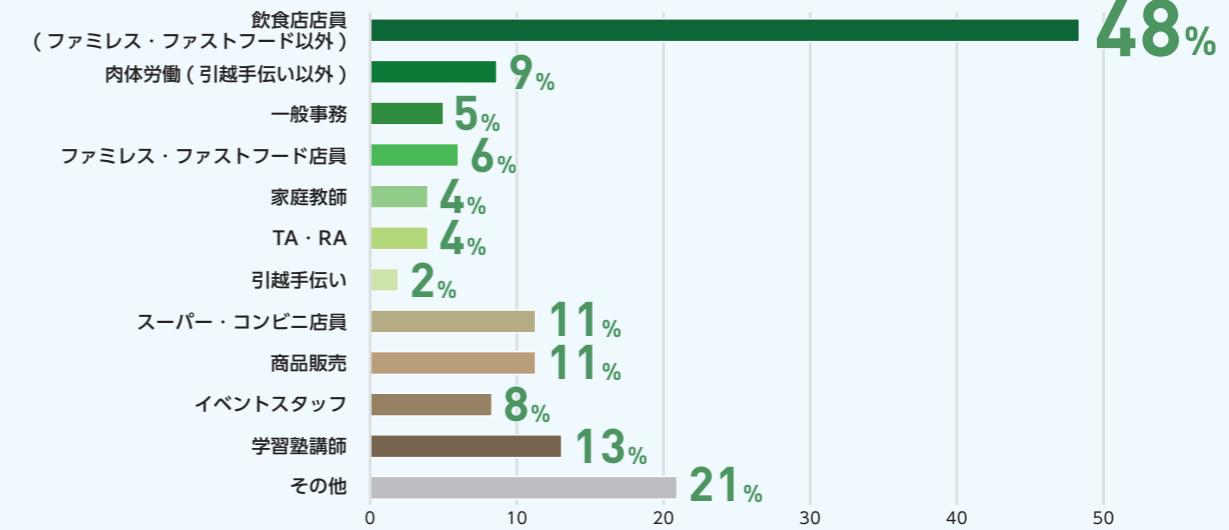
地域学部	83	17
医学部	73	27
工学部	76	24
農学部	83	17
学部全体	78	22

対象 大学院

地域学専攻	63	38
工学専攻	85	15
農学専攻	90	10
国際乾燥地科学専攻	100	
医学系研究科(修士)	79	21
修士全体	85	15
医学系研究科(博士)	62	38
工学研究科	30	70
共同獣医学研究科	100	
連合農学研究科	80	20
博士全体	61	39
大学院全体	82	18

09-2 直近1年間に主にどんなアルバイトをしましたか。 〔複数選択可能〕(問8の質問ではいと答えた方)

対象 大学全体

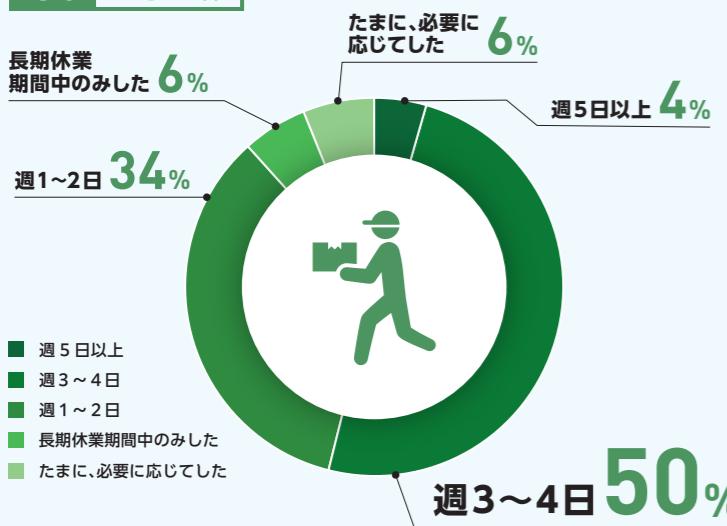


Comment

最も多かったのは「飲食店店員(ファミレス・ファーストフード以外)」(48%)で、これに「ファミレス・ファーストフード店員」(6%)を加えると半数を超えました。大学から近く、勤務シフトが組みやすいアルバイトとして人気です。まかないが付く飲食店は学生にとってありがたい存在です。

09-1 あなたは、直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか。 (問8の質問ではいと答えた方)

対象 大学全体

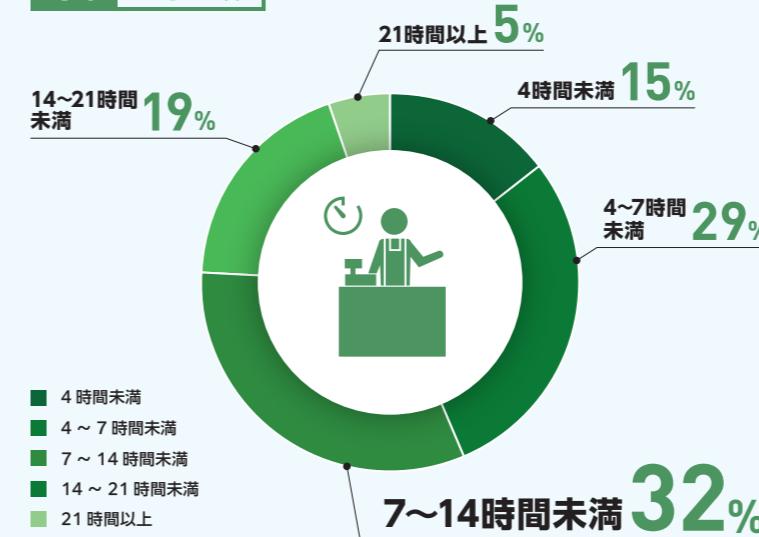


Comment

アルバイト日数は、学部全体では約半数が週3~4日以内と回答しており、修士全体(約46%)および博士全体(50%)が週1~2日となっています。週5日以上と答えた割合は、学部全体で4%、修士全体で4%、博士全体で15%と比較的低いもののほぼ毎日アルバイトしている学生もいます。

09-3 1週間平均何時間くらいアルバイトをしましたか。 (問8の質問ではいと答えた方)

対象 大学全体



Comment

1週間の平均アルバイト時間は「7-14時間」が最多(32%)で、次いで「4-7時間」(29%)で、この2つを合わせると半数を超える(61%)。週に2-3回、数時間ずつや、土日にまとめて働くパターンなどが考えられます。学部間で目立った差はありません。

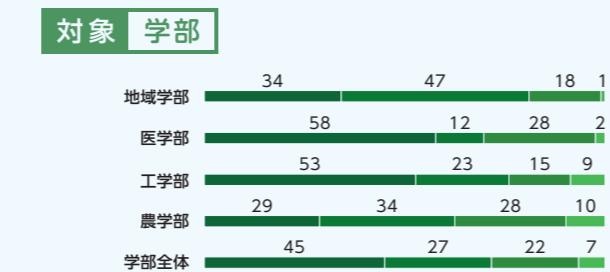
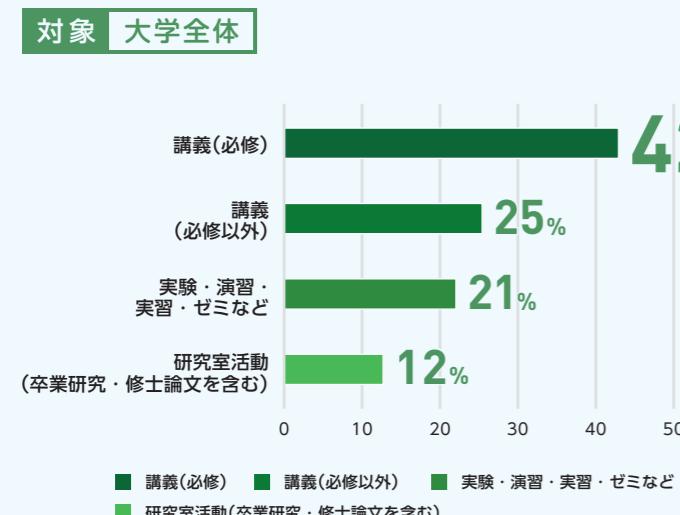
対象 学部

地域学部	14	33	30	17	5
医学部	17	32	31	14	6
工学部	12	26	35	21	5
農学部	14	31	31	18	5
学部全体	14	30	33	19	5

対象 大学院

持続性社会	20	22	31	22	5
創生科学研究科	26	22	33	19	
医学系研究科(修士)	21	22	32	21	4
修士全体	25	25	38	13	
医学系研究科(博士)	33	33	33		
工学研究科	60		20	20	
共同獣医学研究科	25	50		25	
連合農学研究科	25	50		25	
博士全体	10	40	15	25	10
大学院全体	20	24	30	22	5

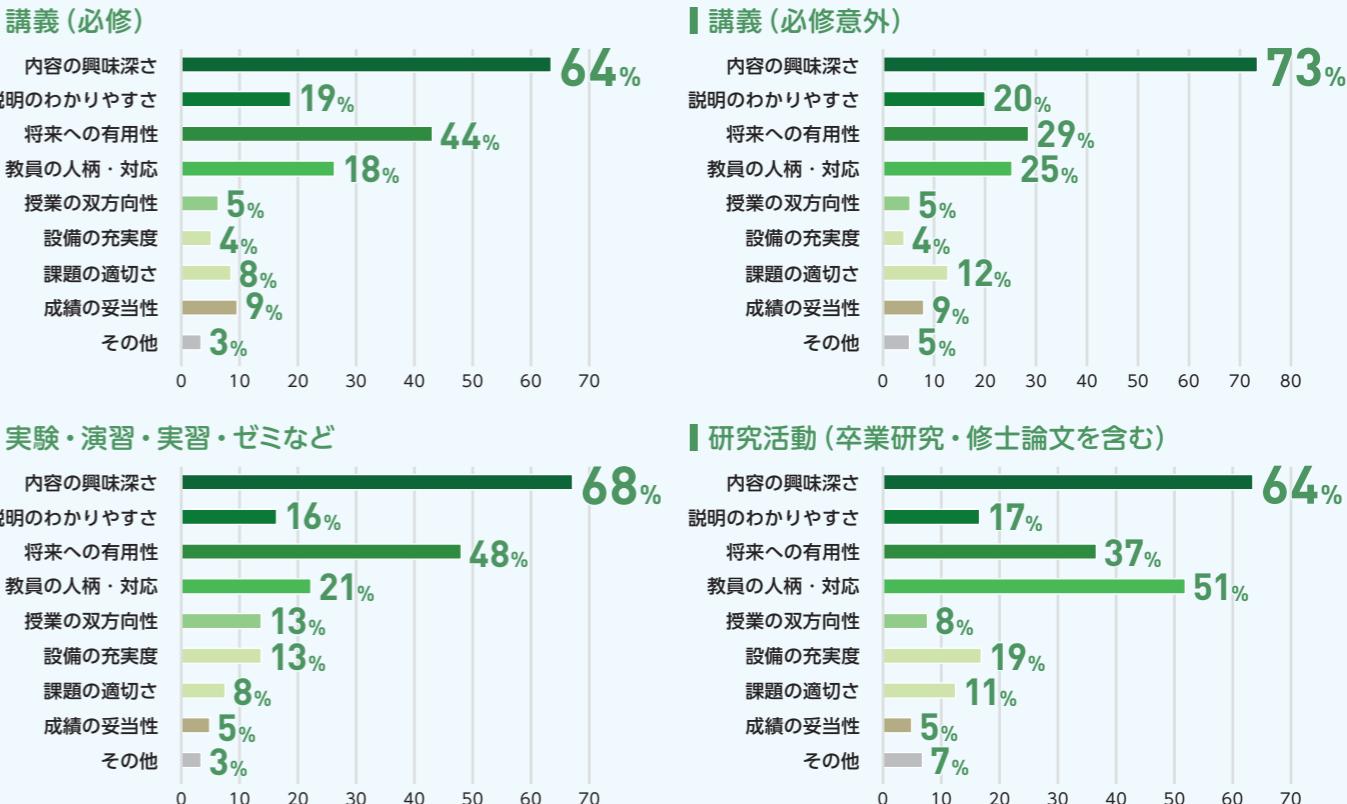
10-1 学部または研究科の専門教育について、満足しているものを1つ選んでください。



Comment

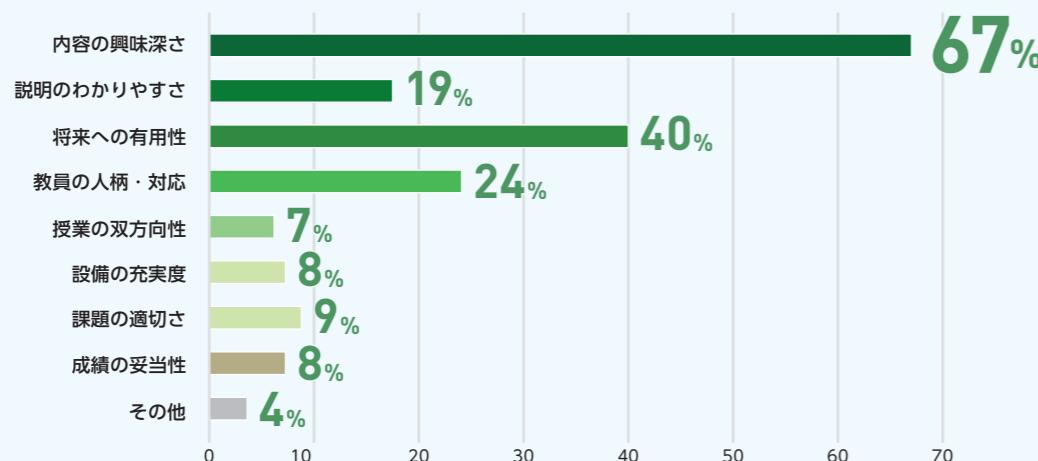
学部全体では「研究室活動(卒業研究・修士論文を含む)」を選択した学生は7%に留まる一方、修士全体では55%、博士全体では67%がこの項目を選択している。この結果から、学部生はカリキュラムとして提供される教育に満足しており、大学院生は研究室での活動に満足していることがわかる。

10-2 学部または研究科の専門教育について、満足している理由として当てはまるものを全て選んでください。(複数選択可能)



10-3 授業科目(全学共通を含む)を通じて、どのような力が身についたと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。(複数選択可能)

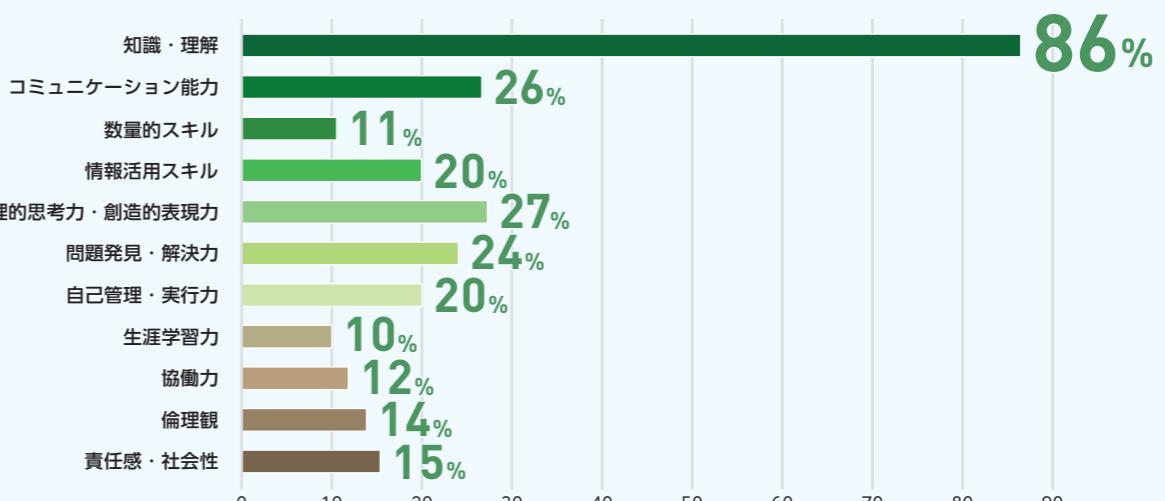
対象 大学全体



Comment

学部全体、修士全体、博士全体でみると、それぞれの項目を選択した割合に大きな違いはありませんでした。「内容の興味深さ」、「将来への有用性」を選択した割合が高い一方で、「授業の双方向性」、「設備の充実度」、「課題の適切さ」、「成績の妥当性」を選択した割合が低くなっています。

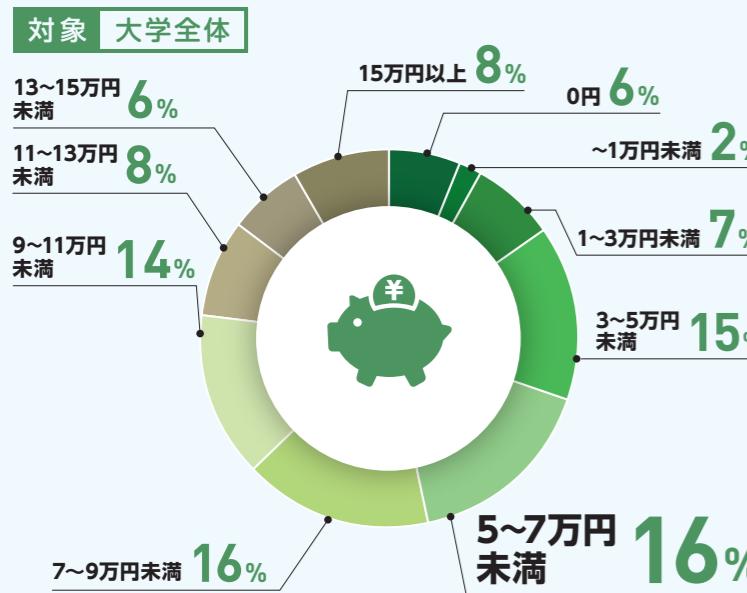
対象 大学全体



Comment

鳥取大学のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)が提示する能力・技能について、実際どのような力が身に付いたと思うか聞いたところ、学部・大学院とも86%の学生が「知識・理解」を選択して最大となっており、他に「論理的思考力・創造的表現力」も27%の学生が身に付いたとしています。

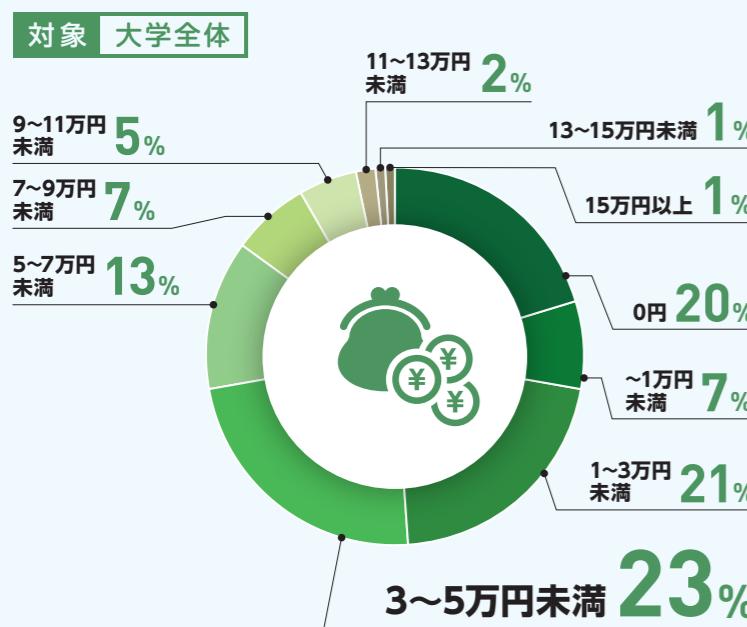
11-1 あなたの直近1年間における平均的な1か月の収入はいくらですか。



Comment

1ヶ月の収入について、一般的な学生の生活水準の指標として中央値を取ると7万円程度です。また、金額の範囲は非常に広く、学生の家計状況はまちまちであることがわかります。

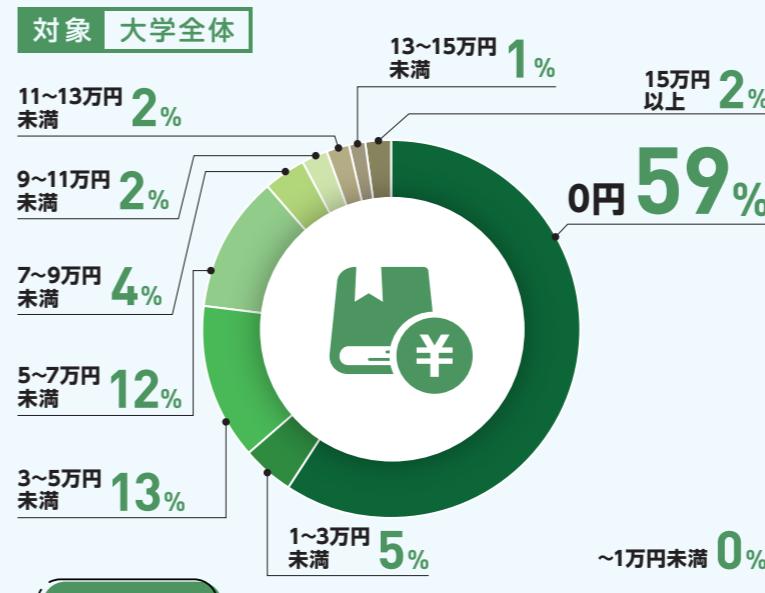
11-2 【収入内訳】学資負担者等からの小遣いや仕送り



Comment

学資負担者等からの小遣いや仕送りをもらっていない学生が約2割です。さらに約半数は仕送り等が3万円未満で生活していることになります。

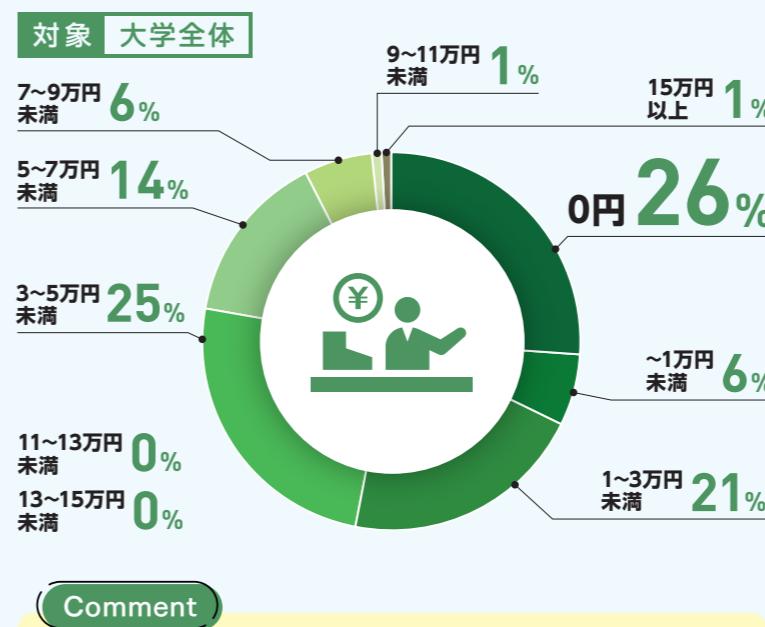
11-3 【収入内訳】奨学金



Comment

奨学金の受給額の割合を上位2位まで見ますと、学部では3~5万円未満と5~7万円未満(合計25%)、修士では5~7万円未満と7~9万円未満(合計24%)、博士では11~13万円未満と13~15万円未満(合計33%)となっており、学部から大学院にかけて段階的に増えていることがわかります。

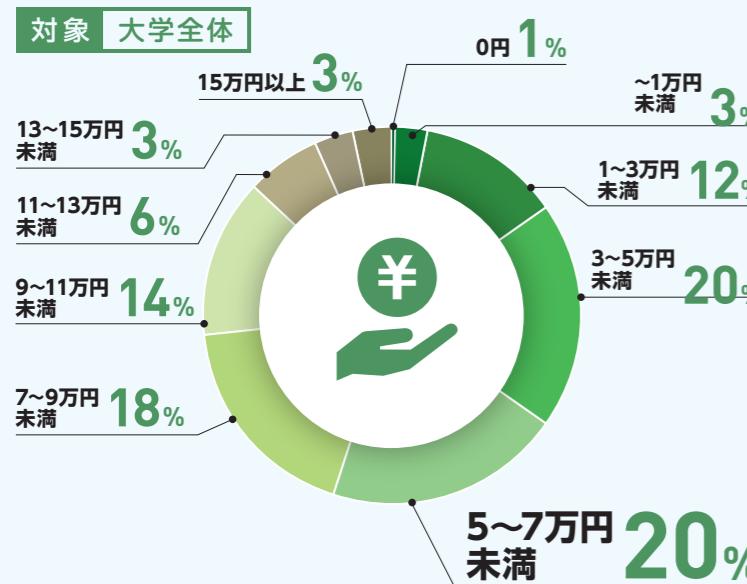
11-4 【収入内訳】アルバイト



Comment

アルバイトの割合を見ますと、学部と修士では3~5万円未満が最も多く(学部25%、修士30%)、次に1~3万円未満(学部21%、修士20%)となり、同じような傾向にあると言えます。博士はアルバイトをしている割合が最も少ないですが、15万円以上の割合が18%と比較的高くなっています。

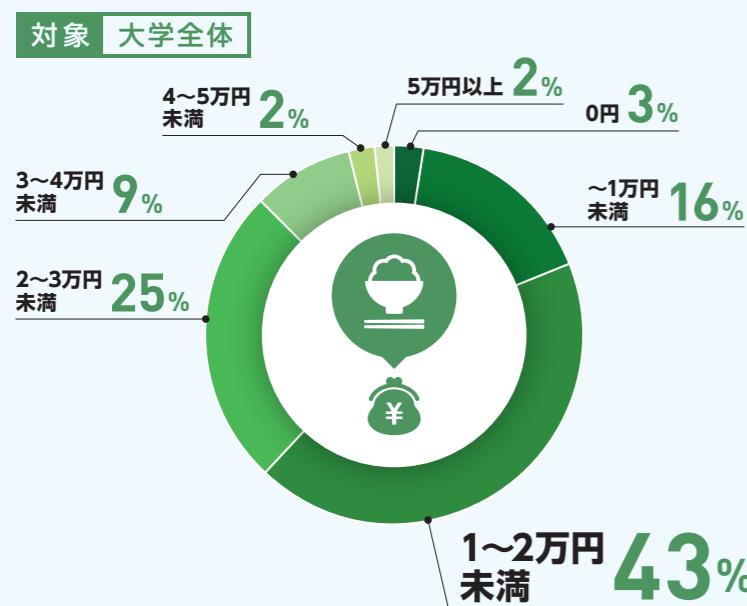
12-1 あなたの直近1年間における平均的な1か月の支出はいくらですか。



Comment

1ヶ月の支出について、一般的な学生の生活水準の指標として平均値を取ると5~7万円でした。近年の物価高騰で支出の増加が気になるところですが、前回(2年前)、前々回(5年前)と各金額帯での差は2%以内で、大きな変化は見られませんでした。

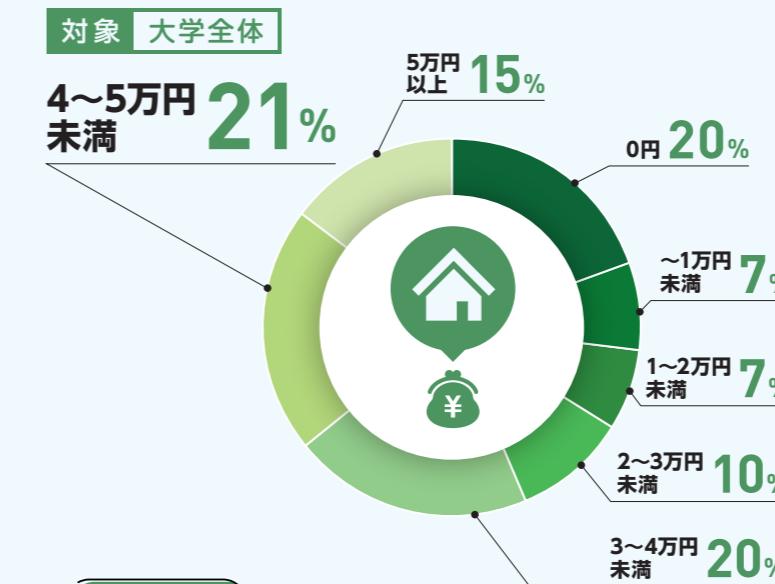
12-2 【支出内訳】食費



Comment

食費は1~2万円が最も多くなっています。1ヶ月の食費としては少ないように思われますが、鳥取大学の学生の約75%は、大学生協のミールカードを利用しています。その金額が反映されていないため、このような結果になっていると推測されます。

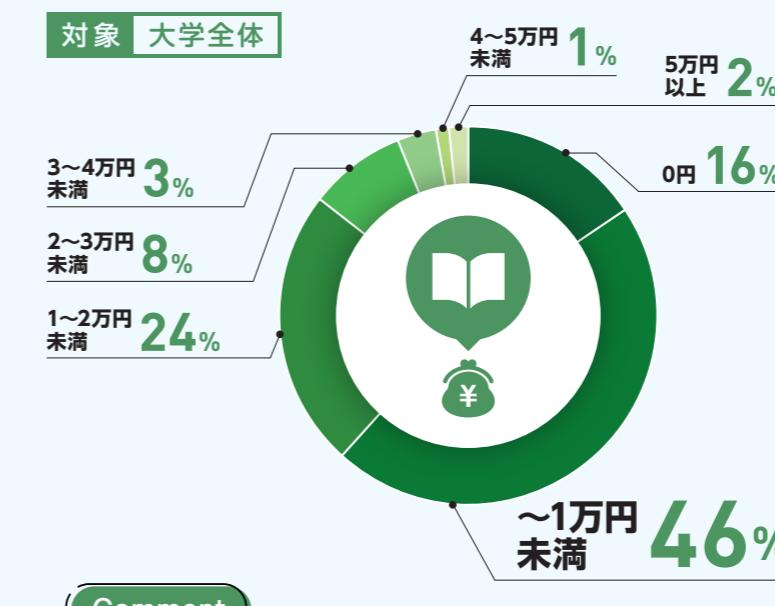
12-3 【支出内訳】住居費(家賃、光熱水料費含む)



Comment

住居費0円の割合は地域学部が29%以上と最多で、大学全体でも20%近い値です。それ以外の住居費帯では、4~5万円未満が大学全体の21%以上と最多です。学部別に見ると、工学部が3~4万円未満、地域学部と農学部が4~5万円未満、医学部が5万円以上で最多となっており、学部間の差異が表れています。

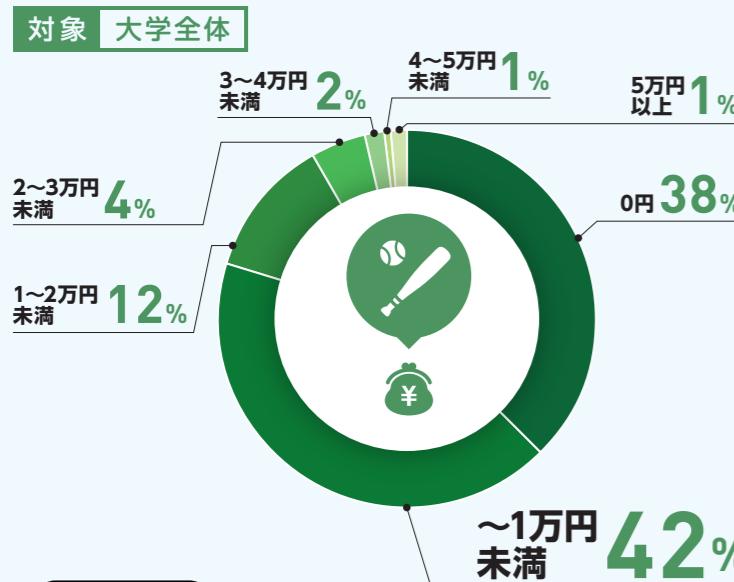
12-4 【支出内訳】修学費 (教科書、参考書、公務員講座費、英会話費等)



Comment

大学全体では、修学費が0円~2万円未満の割合が86%を占めており、内訳は1円~1万円未満が46%以上で最多です。学部では4学部とも1円~1万円未満が最多で、1万円~2万円未満がそれに次いでいます。修士では修学費が0円の割合が相対的に増し、専攻によつては最多の修学費帯の逆転が見られます。

12-5 【支出内訳】課外活動費(サークル活動、ボランティア活動等)

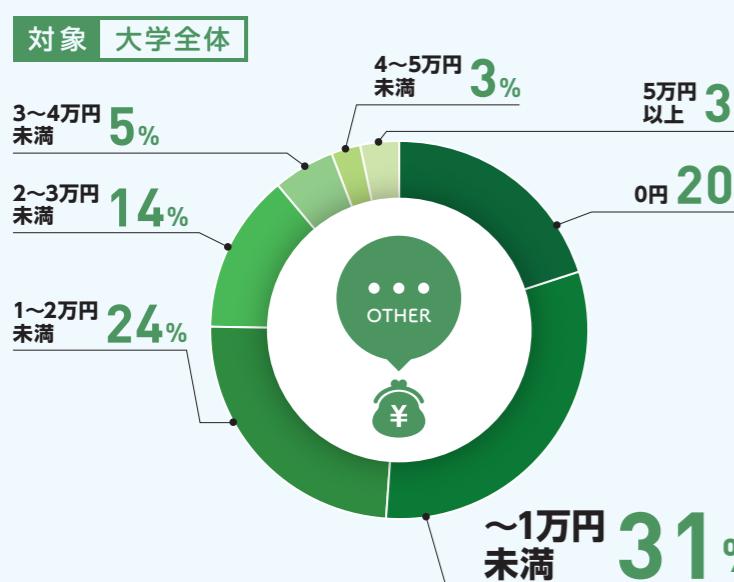


Comment

大学全体でみると、「~1万円未満」の回答割合が4割強を占めています。一方で、「0円」、すなわちサークル活動やボランティア活動等の課外活動に支出することのない学生も4割近くに達しています。また、割合こそ多くはありませんが、平均数万円単位で課外活動に毎月支出している学生も存在しています。



12-6 【支出内訳】その他(問12-2~12-5に含まれない経費)



Comment

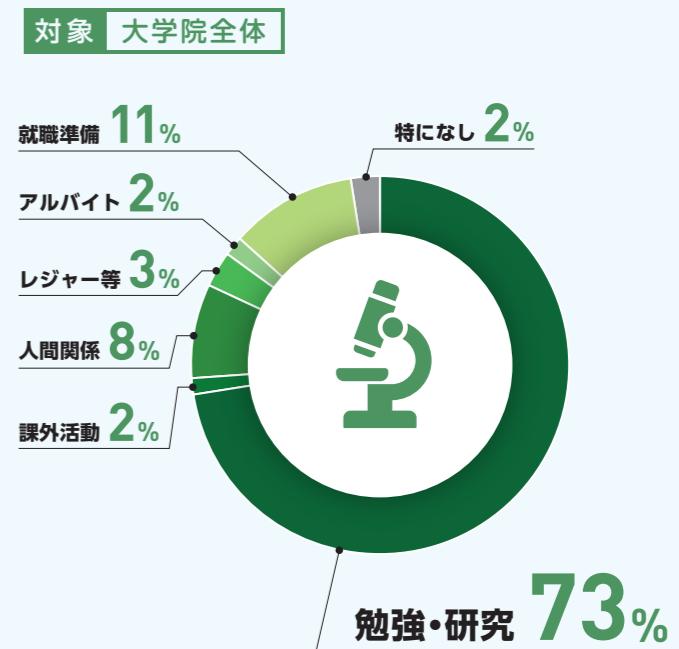
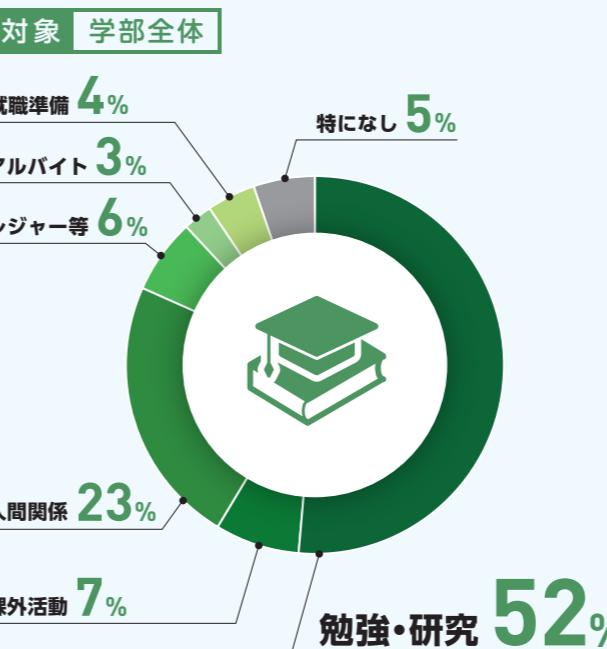
「その他」の支出についてみると、「0円」と回答した学生が2割いるなど、全体の半数が、1万円未満の支出に収まっています。また、支出が1万円台から2万円台の学生があわせて4割弱を占めています。多くの学生が、3万円台には至らない程度の範囲で「その他」の支出を行っている様子がうかがえます。



Comment

「その他」の支出についてみると、「0円」と回答した学生が2割いるなど、全体の半数が、1万円未満の支出に収まっています。また、支出が1万円台から2万円台の学生があわせて4割弱を占めています。多くの学生が、3万円台には至らない程度の範囲で「その他」の支出を行っている様子がうかがえます。

13 あなたは、現在学生生活の中でどのような点に最も重点をおいて行動していますか。



対象 学部

地域学部	43	8	27	8	3	5	6
医学部	57	5	23	5	3	3	4
工学部	52	7	21	7	2	5	6
農学部	51	9	24	6	2	4	4

対象 大学院

持続性社会 創生科学研究科	69	2	9	32	13	3
医学系研究科(修士)	71	3	9	6	3	6
医学系研究科(博士)	92	8				
連合農学研究科	100					

対象 学部入学年度別

2017年以前	89	11
2018年	48	3
2019年	45	13
2020年	62	6
2021年	52	19
2022年	49	23
2023年	49	30

Comment

大学生活の中で一番重点をおくものとして、学部生・大学院生ともに「勉強・研究」が最も多く、次いで「人間関係」を大切にしていることがわかりました。学部別では理系学部のほうが勉強・研究に力をいれている傾向があり、高学年になるとその割合が増加しています。

対象 大学院入学年度別

2021以前	100
2022年	77
2023年	67

2021以前	100
2022年	77
2023年	67

2021以前	100
2022年	77
2023年	67

2021以前	100
2022年	77
2023年	67

2021以前	100
2022年	77
2023年	67

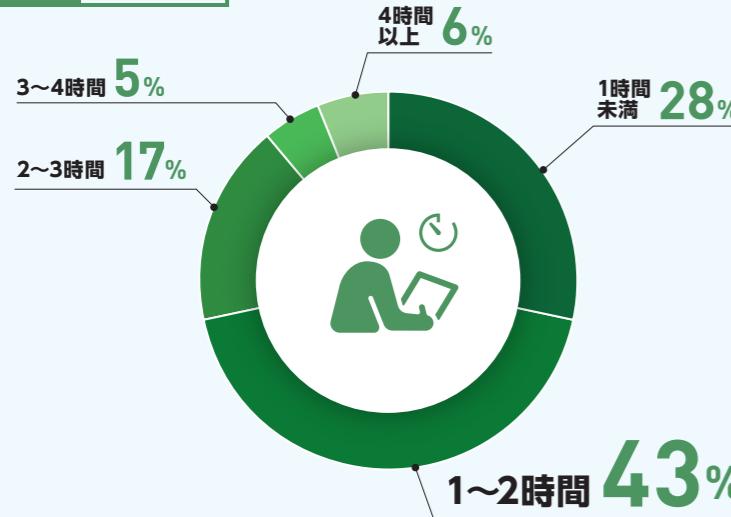
2021以前	100
2022年	77
2023年	67

2021以前	100
2022年	77
2023年	67

2021以前	100
2022年	77</td

14 あなたは授業以外で、予習・復習の他、宿題やレポート作成を含めて1日平均何時間くらい勉強していますか。

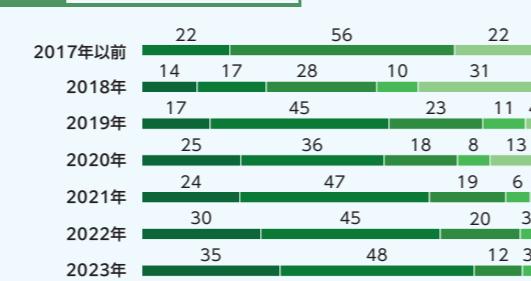
対象 大学全体



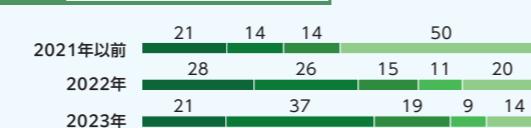
Comment

大学の授業以外の勉強時間は全体の9割近い学生が3時間未満とこたえています。学部生・大学院生ともに1~2時間が最も多く(43%)、次いで1時間未満(28%)、2~3時間(17%)でした。学部や入学年度によって大きな差はみられませんでした。

対象 学部入学年度別



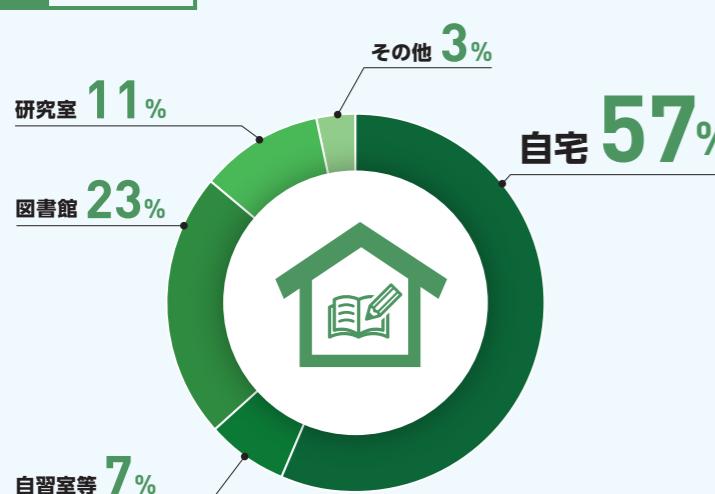
対象 大学院入学年度別



■ 1時間未満 ■ 1~2時間 ■ 2~3時間 ■ 3~4時間
■ 4時間以上

15 授業以外で勉強する場所は、主にどこですか。

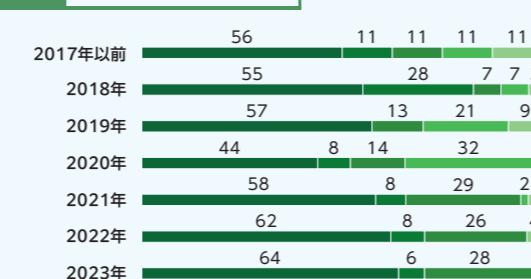
対象 大学全体



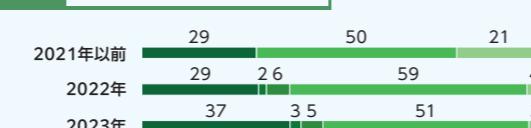
Comment

大学全体では、自宅(57%)が最も多く次に図書館(23%)でした。一方、学部入学年度2020年以前の学生では図書館が減り、研究室が増え、大学院生では自宅・図書館に比べて研究室で勉強する学生が多い結果でした。研究室配属により、研究室で勉強する学生が増えると考えられました。

対象 学部入学年度別



対象 大学院入学年度別

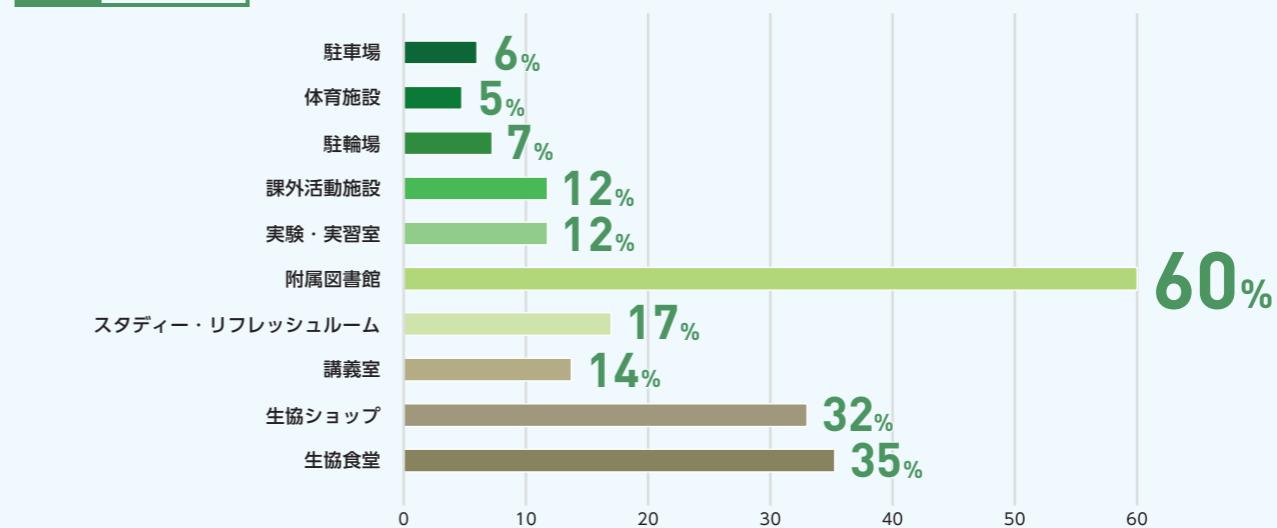


■ 自宅 ■ 自習室等 ■ 図書館 ■ 研究室
■ その他

16 本学の施設・設備の充実度及び利用のしやすさについて、良いと感じている施設を回答してください。(複数選択可能)

16

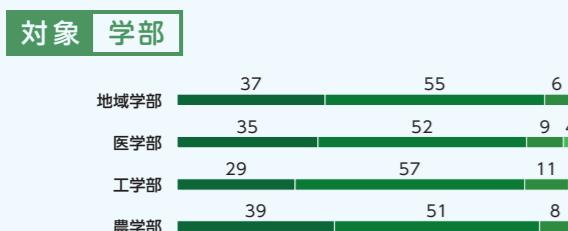
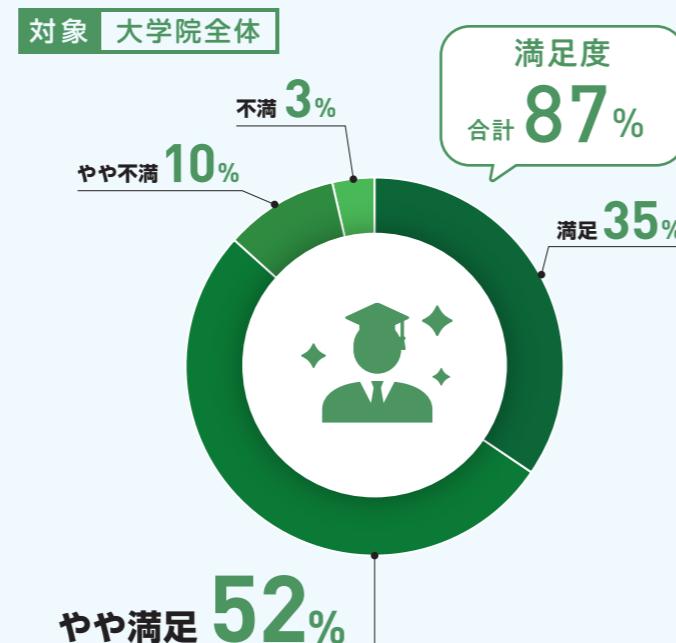
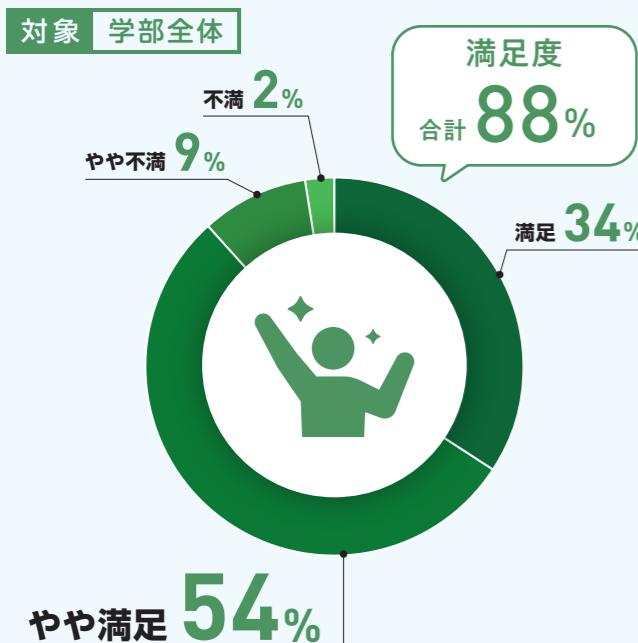
対象 大学全体



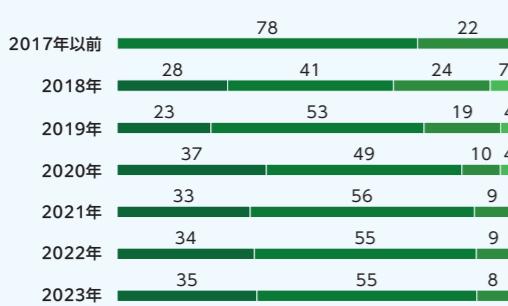
Comment

大学全体では、多い順に図書館(60%)・生協食堂(35%)・生協ショップ(32%)でした。他の施設は全て20%未満で、より良い施設に向けて検討が望まれます。一方、実験・研究施設は学部(10%)に比べて大学院(31%)では高く、回答には利用頻度の影響も推測されました。

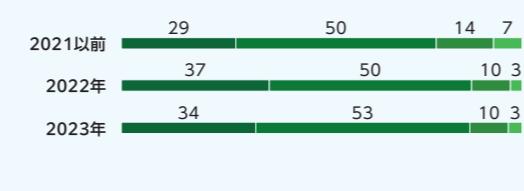
17 あなたは、現在の学生生活に満足していますか。



対象 学部入学年度別

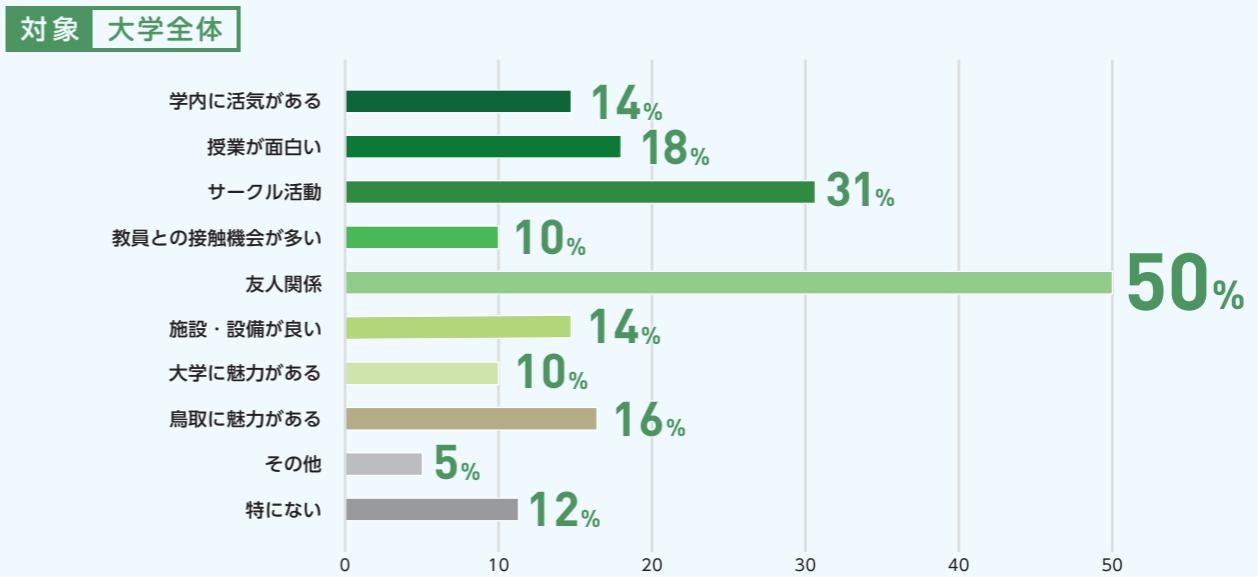


対象 大学院入学年度別



(Comment)

学部生は88%、大学院生は87%となっており、9割弱の学生が学生生活に満足していました。前回の調査結果と比べると、それぞれ9ポイント増と6ポイント増となっており、コロナ禍が明けたことが満足度に影響しているようです。学部・研究科間や入学年度別では大きな違いはみられませんでした。

18 現在の学生生活で満足している部分を教えてください。
(複数選択可能)

(Comment)

大学全体では、「友人関係(50%)」と「サークル活動(31%)」が主な理由でした。学部生でも同様の傾向がみられましたが、大学院生では「友人関係(38%)」と「教員との接觸機会(30%)」が主な理由となっており、研究室配属や研究活動を通じた教員との繋がりが影響しているようです。

■主な自由記述内容 主な自由記述内容を以下に記載しますが、同じ内容のものや、個人もしくは特定の関係者を中傷する内容の意見は委員会の判断により掲載をしていません。また、掲載にあたり、文章に必要最低限の修正を加えているものがあります。

学習支援

研究室に関する案内や情報発信をもう少し早めに行ってほしい。	工学部
1年生の時から学科の研究室についてもっと知る機会を設けてほしい。	工学部
Wi-Fiが全然つながらなくて、困っています。	農学部
シラバスに講義室を書いてほしい。 書いてある授業と書いてない授業があって調べるのが大変。	農学部
すべての講義室でパソコンの充電ができるようにしてほしい。	医学部
テスト期間は図書館の席が埋まりやすいので、もっと自習室があると嬉しいと思います。 また、大学院入試についての情報をもっと知りたいです。	工学部
テスト期間中の自習スペースをもう少し増やしてほしい。テスト期間になると、図書館の自習室も学部の自習室も席が埋まつていて勉強スペースが確保できない。	農学部
もっと自習できる場所を増やしてほしい。図書館以外でもよいので朝早くから自習できる場所が欲しい。対面授業がどの学科でも増えたため、自習に使用できる教室が少なくなっている。	工学部
もっと自分の興味のある研究や学習の分野について海外で学べる機会があったり、海外での状況や情報を知れる機会があつたりしてほしい。	地域学部
医学部はキャンパスが学年で離れていて、上級生の声を聴きたくても聞ける機会がなく、初めの履修登録も不安で仕方がなかったので、これからの人のためにもそのような場を作ってほしいです。	医学部
一年生の必修の選択の授業の抽選制度をもう少し工夫した方がいいと思います。授業が取れる人と取れない人の偏りがひどいと思います。	農学部
学外で経験を積む機会をもっと提供してほしい。 実験・実習はもっと多くてもよい。現場見学など行ってみたい。	工学部
学務支援システム、manabaのサイトがもっと見やすく、使いやすくなってほしい。	工学部
学務支援システムについて。自己判定システムで、「その他科目」を含めて合格不合格が判断できるようにしてほしい。現状だと、「その他科目」で数を稼いでいる人が不安になるような様式に感じる。	農学部
教養科目的抽選がかなり外れて履修できないのが少し残念でした。	農学部
校内の教室をきれいに掃除してほしい。 トイレをきれいにしてほしい。	地域学部
manabaと学務支援システムを使い分けるのにメリットを感じないので、統一してほしい。	工学部
自習スペースを増やしてほしい。	農学部
図書館の開館時間を延ばして欲しい。	工学部
図書館の席が少ないので、他の校舎が18時以降施錠されるため勉強できる場所が少ない。日中はずっと授業がある人からすると、図書館の閉館時間が22時になったのも、テスト期間以外は日曜が18時前に閉まるのも、不便。近くにカフェなどもないため、車や自転車を持たない人のことも考慮して学習環境を作ってほしい。	農学部
米子の生徒にももっとオンラインなどで全学共通科目を受講する機会が欲しい。	医学部

経済支援

生協のポイントを貯めてプリペイドカードに送ると、買い物の際に使える仕組みがあるのは便利だが米子地区では周知の貼り紙がなく、知る機会がない。貼り紙を作っていただきたい。

医学部

奨学金の種類と申請のしやすさを増やすといいかもしれません。

工学部

奨学金が手厚くて助かっています。

医学部

教科書代が高いため、支援がほしい。

医学部

お米の配布などが多く、地域からの島大への期待は大きいと感じる。一方で、日本学生支援機構の給付型が取れないが、支援を必要としている層が一定数いることを忘れないでほしい。非課税であったりはしないが中間層もいる。給付型奨学生だけではなく、貸与型1種の学生にも「とりん奨学金」の枠が与えられたことは評価できる。

工学部

生活支援

夜の構内が非常に暗い。防犯の面で危ないと思う。切れている電気は変えてほしいし、駐輪場に蛍光灯を設置すべき。

医学部

鳥取大学内、周辺の草木を全部とは言わずともおおかた伐採してほしい。教員センター付近やサークル棟付近など。付属図書館前の最近自転車同士の事故もあったからである。そもそも大学内に坂(斜面)が多いため、そこに木という障害物があると視界が悪く、危険である。小学生や中学生も大学内を通学路として使っているので児童生徒の安全のためにも、草木は付属図書館前の広場の芝生と数本の木しかいらないと思う。

地域学部

駐輪場に屋根が欲しい。

工学部

生協食堂の営業時間を拡大してほしいです。実習が長引いた際に夜ご飯を取れたら嬉しいです。

医学部

eduroamが弱すぎて、講義室では重すぎる回線の強度を上げてほしい(特にE棟)。また、旧排水処理施設を改装してほしい。

農学部

就職支援

低次学年のころから各研究室や配属ゼミの情報をもらいたい。その後の就職活動にどうつながっていくか考えるためにも、早い段階での就活情報が欲しい。

地域学部

その他

部活の活動する施設・環境が悪い点。もう少し施設をきれいにする、施設を充実させる、環境を良くする(雑草、設備等)など

農学部

入学前に、保健学科・生命科学科の鳥取市から米子市への移動について具体的な時期を調べたものの、はっきりとした情報が出て来なくて困った覚えがある。そのため、パンフレットやホームページに明記していただきたい。

医学部

生協の食堂及び売店の価格が割高感があるので、もう少し安価に提供してほしい。また、大学の学部等から徒歩数分あるいは構内にコンビニやファストフード店、またすなば珈琲といったコーヒーショップがあるとより快適な学生生活が送れ、鳥取大学自体の魅力も増すと思う。

連合農学研究科

研究室で留学生を受け入れた際、大学側が留学生に対してどこまで説明しているのか、研究室の日本人学生はなにをサポートをすればいいのかなどを、研究室の日本人学生全員に周知するようにしてほしい。
例えば、留学生の入学時のオリエンテーションでは履修登録は学務支援システムから行い、授業の連絡はマナバを通じて行うという説明はされているが、登録やどうやったらマナバを見る事ができるかは説明していないので、研究室の学生でサポートしてくださいなどを、留学生が所属する研究室の学生に周知してほしい。

持続性社会
創生科学研究科

留学生に対しての大学側のサポートがどれだけあるのかわからない状態で対応するのは、留学生が何をどこまで把握しているのか確認するところから対応しないといけないので、非常に時間がかかり、ストレスである。

大学側が留学生に対して行っているサポート一覧を留学生と各研究室に配布するなど、大学側のサポートを明確にしてほしい。

令和5年度学生生活実態調査 調査項目

01 住居・通学方法について

問1.【全員が対象です】あなたの出身地域はどこですか。

- | | | | | |
|---------|-----------------|------------|---------|---------|
| 1. 鳥取県 | 2. 中国地方(鳥取県を除く) | 3. 四国地方 | 4. 近畿地方 | 5. 中部地方 |
| 6. 関東地方 | 7. 東北・北海道地方 | 8. 九州・沖縄地方 | 9. 海外 | |

問2.【全員が対象です】あなたの通学時間(片道)はどのくらいですか。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5~10分未満 | 3. 10~15分未満 |
| 4. 15~30分未満 | 5. 30~60分未満 | 6. 60分以上 |

問3.【全員が対象です】あなたの通学方法は何ですか。【乗継の場合は最も長い区間の手段を選んでください。】

- | | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. バス |
| 5. 鉄道 | 6. 自家用車 | 7. その他 | |

問4.【全員が対象です】あなたの住居の種別はどれですか。

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 実家 | 2. アパート・マンション(バス・トイレがユニット式) |
| 3. アパート・マンション(バス・トイレがセパレート式) | 4. 共同アパート(バス・トイレ・流しが共同) |
| 5. 学寮 | 6. その他 |

02 課外活動について

問5.【全員が対象です】あなたは、現在部活動やサークル等(同好会を含む)に入っていますか(または入っていましたか)。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 学内の体育系サークル等に加入(していた) | 2. 学内の文化系サークル等に加入(していた) |
| 3. 学外のサークル等に加入(していた) | 4. 加入したことがなかった |

問6.【問5】の質問で加入又は加入していたと答えた人に尋ねます】

1) サークルに入った(または入っていた)主な理由は何ですか。【複数選択可能】

- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|------------------|
| 1. 学生生活を楽しむ | 2. 交友関係を広げる | 3. 興味・関心があった | 4. 就職活動・進学に活用したい |
| 5. 自己成長 | 6. 健康促進 | 7. その他 | |

2) あなたは、サークル等で1週間平均何時間くらい活動していますか。

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1. 4時間未満 | 2. 4~7時間未満 | 3. 7~14時間未満 |
| 4. 14~21時間未満 | 5. 21時間以上 | |

問7.【全員が対象です】あなたは、直近1年間に地域活動やボランティア活動をしていますか(またはしたことがありますか)。

- | | | |
|---------|------------|------------|
| 1. している | 2. したことがある | 3. したことがない |
|---------|------------|------------|

03 アルバイトについて

問8.【全員が対象です】あなたは、直近1年間にアルバイトをしましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問9.【「問8」の質問ではいと答えた人に尋ねます】

1) あなたは、直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか。

- | | | |
|----------------|-----------------|----------|
| 1. 週5日以上 | 2. 週3~4日 | 3. 週1~2日 |
| 4. 長期休業期間中のみした | 5. たまに、必要に応じてした | |

2) 直近1年間に主にどんなアルバイトをしましたか。【複数選択可能】

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 飲食店店員(ファミレス・ファーストフード以外) | 2. 肉体労働(引越し手伝い以外) |
| 3. 一般事務 | 4. ファミレス・ファーストフード店員 |
| 5. 家庭教師 | 6. テーチングアシスタント・リサーチアシスタント |
| 7. 引越し手伝い | 8. スーパー・コンビニ店員 |
| 9. 商品販売 | 10. イベントスタッフ |
| 11. 学習塾講師 | 12. その他 |

3) 1週間平均何時間くらいアルバイトをしましたか。

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1. 4時間未満 | 2. 4~7時間未満 | 3. 7~14時間未満 |
| 4. 14~21時間未満 | 5. 21時間以上 | |

04 カリキュラムについて

問10.【全員が対象です】

1) 学部または研究科の専門教育について、満足しているものを1つ選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 講義(必修) | 2. 講義(必修以外) |
| 3. 実験・演習・実習・ゼミなど | 4. 研究室活動(卒業研究・修士論文を含む) |

2) 学部または研究科の専門教育について、満足している理由として当てはまるものを全て選んでください。【複数選択可能】

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| 1. 内容の興味深さ | 2. 説明の分かりやすさ | 3. 将来への有用性 |
| 4. 教員の人柄・対応 | 5. 授業の双方向性 | 6. 設備の充実度 |
| 7. 課題の適切さ | 8. 成績の妥当性 | 9. その他 |

3) 授業科目(全学共通を含む)を通じて、どのような力が身についたと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。【複数選択可能】

- | | | |
|-------------|------------------|-------------|
| 1. 知識・理解 | 2. コミュニケーション能力 | 3. 数量的スキル |
| 4. 情報活用スキル | 5. 論理的思考力・創造的表現力 | 6. 問題発見・解決力 |
| 7. 自己管理・実行力 | 8. 生涯学習力 | 9. 協働力 |
| 10. 倫理観 | 11. 責任感・社会性 | |

05 家計状況について

問11. 【全員が対象です】あなたの直近1年間における平均的な1か月の収入はいくらですか。小遣いや仕送り、奨学金、アルバイトに区分して、回答してください。

1) 収入合計

- | | | | |
|----------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~3万円未満 | 4. 3万円~5万円未満 |
| 5. 5万円~7万円未満 | 6. 7万円~9万円未満 | 7. 9万円~11万円未満 | 8. 11万円~13万円未満 |
| 9. 13万円~15万円未満 | 10. 15万円以上 | | |

2) 学資負担者等からの小遣いや仕送り

- | | | | |
|----------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~3万円未満 | 4. 3万円~5万円未満 |
| 5. 5万円~7万円未満 | 6. 7万円~9万円未満 | 7. 9万円~11万円未満 | 8. 11万円~13万円未満 |
| 9. 13万円~15万円未満 | 10. 15万円以上 | | |

3) 奨学金

- | | | | |
|----------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~3万円未満 | 4. 3万円~5万円未満 |
| 5. 5万円~7万円未満 | 6. 7万円~9万円未満 | 7. 9万円~11万円未満 | 8. 11万円~13万円未満 |
| 9. 13万円~15万円未満 | 10. 15万円以上 | | |

4) アルバイト

- | | | | |
|----------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~3万円未満 | 4. 3万円~5万円未満 |
| 5. 5万円~7万円未満 | 6. 7万円~9万円未満 | 7. 9万円~11万円未満 | 8. 11万円~13万円未満 |
| 9. 13万円~15万円未満 | 10. 15万円以上 | | |

問12. 【全員が対象です】あなたの直近1年間における平均的な1か月の支出はいくらですか。食費、住居費、修学費、課外活動費、その他に区分して、回答してください。

1) 支出合計

- | | | | |
|----------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~3万円未満 | 4. 3万円~5万円未満 |
| 5. 5万円~7万円未満 | 6. 7万円~9万円未満 | 7. 9万円~11万円未満 | 8. 11万円~13万円未満 |
| 9. 13万円~15万円未満 | 10. 15万円以上 | | |

2) 食費

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~2万円未満 | 4. 2万円~3万円未満 |
| 5. 3万円~4万円未満 | 6. 4万円~5万円未満 | 7. 5万円以上 | |

3) 住居費〔家賃、光熱水料費含む〕

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~2万円未満 | 4. 2万円~3万円未満 |
| 5. 3万円~4万円未満 | 6. 4万円~5万円未満 | 7. 5万円以上 | |

4) 修学費〔教科書、参考書、公務員講座費、英会話費等〕

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~2万円未満 | 4. 2万円~3万円未満 |
| 5. 3万円~4万円未満 | 6. 4万円~5万円未満 | 7. 5万円以上 | |

5) 課外活動費〔サークル活動、ボランティア活動等〕

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~2万円未満 | 4. 2万円~3万円未満 |
| 5. 3万円~4万円未満 | 6. 4万円~5万円未満 | 7. 5万円以上 | |

6) その他〔上記に含まれない経費〕

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. ~1万円未満 | 3. 1万円~2万円未満 | 4. 2万円~3万円未満 |
| 5. 3万円~4万円未満 | 6. 4万円~5万円未満 | 7. 5万円以上 | |

06 学生生活について

問13. 【全員が対象です】あなたは、現在学生生活の中でどのような点に最も重点をおいて行動していますか。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 勉強・研究をする | 2. 課外活動をする |
| 3. 友人を得て豊かな人間関係を結ぶ | 4. レジャー等生活を楽しむ |
| 5. アルバイトをする | 6. 就職の準備をする |
| 7. 特にない | |

問14. 【全員が対象です】あなたは授業以外で、予習・復習の他、宿題やレポート作成を含めて1日平均何時間くらい勉強していますか。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1. 1時間未満 | 2. 1~2時間 | 3. 2~3時間 | 4. 3~4時間 | 5. 4時間以上 |
|----------|----------|----------|----------|----------|

問15. 【全員が対象です】授業以外で勉強する場所は、主にどこですか。

- | | | | | |
|-------|------------|----------|----------|--------|
| 1. 自宅 | 2. 学内の自習室等 | 3. 附属図書館 | 4. 学生研究室 | 5. その他 |
|-------|------------|----------|----------|--------|

問16. 【全員が対象です】本学の施設・設備の充実度及び利用のしやすさについて、良いと感じている施設を回答してください。(複数選択可能)

- | | | |
|---------------------------|------------|-----------|
| 1. 駐車場 | 2. 体育施設 | 3. 駐輪場 |
| 4. 課外活動施設(大学会館、共用施設、部室棟他) | 5. 実験室・実習室 | 6. 附属図書館 |
| 7. スタディールーム・リフレッシュルーム | 8. 講義室 | 9. 生協ショップ |
| 10. 生協食堂 | | |

問17. 【全員が対象です】あなたは、現在の学生生活に満足していますか。

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

問18. 【全員が対象です】現在の学生生活で満足している部分を教えてください。(複数選択可能)

- | | | | |
|------------------|----------------|--------------------|-----------------|
| 1. 学内に活気がある | 2. 授業が面白い | 3. サークル活動がうまくいっている | 4. 教員との接觸の機会が多い |
| 5. 友人関係がうまくいっている | 6. 大学の施設・設備が良い | 7. 鳥取大学に魅力がある | 8. 鳥取に魅力がある |
| 9. その他 | 10. 特にない | | |

07 その他

問19. 【全員が対象です】本学に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。

1) 主な区分を回答してください。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|--------|
| 1. 学習支援 | 2. 経済支援 | 3. 生活支援 | 4. 就職支援 | 5. その他 |
|---------|---------|---------|---------|--------|

2) 具体的な内容をご記入ください。

()